

発 言

中野 裕美
副 学 長



約第26回締約国会議
(国連気候変動枠組条
約第26回締約国会議
2021年11月にイ
ギリス・グラスゴーで
開催されたCOP26
(国連気候変動枠組条
は、抗議デモによる批
判も起る中、13日に
閉幕しました。世界の
平均気温の上昇を「1
・5度以下」に抑える

ことを強調し、各国の
数値目標が出されました。
1・5度という値
を超えると、地球の生
態系が被る気候変動の
影響は、はるかに過酷
なものになることが、
研究者により報告され
ています。この機会に、
地球の温暖化について
しつかり考えてみたい
と思います。

脱炭素とカーボン
ニュートラル

地球環境のためにできることから始めよう

という言葉を、最近よく耳にされると思いま
す。ご存じのように、
地球温暖化の原因は、
大気中の温室効果ガス
が原因と言われていま
す。温室効果ガスとは、
地表を温める作用を
もたらす、一酸化炭素
(CO₂)、メタン、
一酸化二窒素、フロン
ガスなどがあります
が、その中でも大きく
影響するのがCO₂で
す。脱炭素社会とは、
地球温暖化の原因とな
る温室効果ガスの排出
量を実質的にゼロにす
る社会のことです。

カーボンニュートラ
ルも同じような意味で
使われていますが、温
室効果ガスの「排出量
から吸收量と除去量を
差し引いてゼロ」にす
るという意味です。も
ちろん、排出量の削減
は大前提です。ただ、完
全に排出量をゼロにす
ることが困難な分野も
あります。排出分をゼ
ロにできない分は、吸
収や除去を行い、差し
引いてゼロにするとい
うことです。一例とし
て、排出されたCO₂
を地中深くに埋める取
り組みがあります。2
016年から北海道で
実施試験を行い、地下
の経過観察やモニタリ
ングを行っています。
地震国の日本でも、安
全に地下に貯留できる
システムを構築するた
めの試験が進んでいる
のです。また、回収し



あいちCOOL CHOICE
(提供)

たCO₂を用いて新たな商品やエネルギーに
変える再利用の技術も
開発されています。新
たな利用は新ビジネス
チャンスでもあり、今
後技術革新が進む分野
です。

(2面へ続く)

(1面から続く)

気温上昇によるリスク

世界の平均気温は、1950年代の産業革命以降、1・1度上昇しています。IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第6次評価報告書が2021年8月に公表され、「人間活動に起因する地球温暖化は疑う余地がない」と結論づけています。近年の日本で、猛暑日やスコールのような短時間強雨の回数が増えてきたことに、誰もが実感していると思います。

やデング熱の拡大、健康被害、大雨や熱波による異常気象、深刻な食糧難などが予測されています。さらに、2度高くなると、日本の猛暑日の年平均発生量は1・8倍に増加する論文もあります。

OCF2で提案された
各国の数値目標をクリア
しても、今世紀末には2
度を超える可能性があ
り、そのため日本は、2
030年までに13年度比
で、当初26%だった数値
を46%削減に引き上げま
した。

脱炭素社会に
向けた取り組み

した

地球環境のために できることから始めよう

フランスでは考された15から構成された環境政策策動市民評議会が現化して工具化飛行機に代わる線廃止もその飛行機に代わる列車も復活させます。また、かつ長期的な為には、罰金もしているを問題の意識がなれます。航空機の燃料油化に向け動きます。コストですが、環境を

は、抽選で選ばれる「気候変遷」がまとめた提言の一部をおり、航空路の一つです。やつて、夜行させたそうで意図的に深刻な環境破壊行為をすることによって、環境が高いのもうかる方へが重

鋼連盟は、2
でにCO₂排
口（カーボン
ル）を発表し
炭を原料とし
を水素に置き
素還元製鉄」
には、新技術
る予算と、設
に必要な巨額
想され、政府
要な取り組み
業で取り組む
く、産官学と
となつて取り
ば、世界に後
しまいます。
兆円規模の脱
公募を開始し

050年まで出量実質ゼニユートラニました。石炭を換える「水素」です。ここ開発にかかる備置き換えの予算が予の支援も必です。企業のではな政府が一丸組まなけれれを取つて政府は、2炭素基金のまましたが、

す。「気候のストライキ」を掲げて、よみがえり運動対策をスケジュール立てて議会の前で呼びかけたことで、多くの若者たちがこの問題に取り組むようになりました。今回のCOP26では、右側に声をかけられ、進行を行いました。

一人で始めた活動が世界中の多くの若者がしているのです。日本でも、世代の若者が、環境問題を上げ始めました。こういう状況の場合、最初の人達ができない人達と一緒に

2021年8月に公表され、「人間活動に起因する地球温暖化は疑う余地がない」と結論づけています。近年の日本で、猛暑日やスコールのような短時間強雨の回数が増えたことに、誰もが実感していると思います。

では、平均気温上昇が1・5度を超えるとどのような問題が起こるので

このような深刻な温度上昇によるリスクが予測されている今こそ、各国の取り組みを加速させる必要があるのです。

温室効果ガスの排出量が世界第1位の中国は、今回のCOP26で、2030年までに減少に転じ

した。
フランスでは、環境への意識が高く、社会インフラを改革する動きもあります。理由は、約10年前にはクーラーは不要だつたのが、数年前から30度を超える日が続き、国民性が温暖化の危機感を募らせたようです。取り組みの一例として、食品廃棄の廃止は、「時間の効率より環境が大事」という

フランス・リヨンでは、「肉を食べない日」を給食で週に一度設けました。思い切った取り組みですね。畜産業者からのクレームよりも、環境問題を重視している国民性が見えてきます。

要だということ、持続可能な航空燃料(SAF)の使用を、航空会社に一定量義務付ける動きがあります。全日空や日本航空も取り組みを始めました。SAFはバイオ燃料以外にも、アメリカではゴミを利用した、CO₂の排出を抑えるための代替燃料の開発が進んでいます。

EU、米国では200兆円越えの脱炭素(グリーン)投資を推進しており、世界から見ると環境にかなり少なめの予算額はかなっています。50年後の数値目標の実現に向け、この予算規模で結果が出せると良いのですが。

S等で中傷数出でくる
強い意志が
きくなり
環境に関する
は、これか
来のために
ことです。
に、一人一
解し、誹謗中
できるのか?

する意見も多
ため、よほど
ないと継続で
ます。今回の
取り組み
の地球の未
とも重要な
風呂に効率よく入ること。
ど。食品ロスを減らす工
夫をすることなど。ほん
の少し意識を変えること
で、誰にでもできることが
が身近にたくさんあります
電気の使い方を見直し、
車の使い方を見直し、徒
歩や公共交通機関を利用
する頻度を上げること。
ガスの利用を減らし、お
COP26を機
人が正しく理
十傷ではなく、
から始めませ

しょう。氷河が解け海面の上昇、サンゴ礁の破壊、熱帯雨林の減少や砂漠化、森林火災、マラリアの蔓延させ、60年までには実質ゼロにする方針を出しました。現在、内モンゴル自治区で、山手線の内側

棄禁止の法令化、食肉を減らすこと、短距離区間の航空路線を廃止などです。食品廃棄禁止は、無意識がないと、できない取り組みです。たしかに航空機は列車に比べ多く CO_2 を排出します。

CO₂排出量の多い製
鉄業界では、脱炭素化に
向け、大きく舵を切る必
要に迫られています。鉄

トウーンベリ効果

個人ができ コロナ禍で、

す。危機感をもつて環境問題を考えながら、今日はここで筆を置きます。